

【事業計画】

2025 年・2026 年度 学友会事業計画

〔総 括〕

当該年度に新たな事業はないが、数年後の「学友会創設 100 周年」を迎えるにあたり、各支部での機運を盛り上げると共に、継続して事業の発展及び会員相互の親睦、組織結束力の強化に努めたい。

また、母校の発展のためにできる限りの支援を行いたい。

(1) 母校への後援活動について

これまで通りすべての行事に積極的に参加し、学園行事に協力する。

(2) 支部活動の支援と連携について

例年通り定期的な支部総会開催を要請すると共に、支部総会の出席に努めたい。

(3) 学友会名簿の発行について

例年通り、2 年ごとの発行を目指す。

以下、常置委員会が行う事業について総括する。

〔委員会計画〕

(1) 庶務委員会

理事会・委員会等会議の開催、学友だよりの発送、ホームページの定期的な更新および内容の充実を図り会員相互の連携を強化する。

名簿委員会と連携して会員情報の管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行う。また、支部総会および同窓会開催時には、要望に応じて会員宛名シールの提供を行い支部・同窓会活動を積極的に支援する。

(2) 編集委員会

「学友だより」を年 4 回発行する。内容は例年通りとする。専門学校卒業、短期大学卒業、大学卒業、それぞれの会員に有用な情報を新たに検討し、掲載する。幅広い会員の参集を促すため支部総会や同窓会、イベントなど積極的に発信していきたい。過去 2 年の「学友だより」と同様に、写真等を活用して引き続き視覚的な紙面づくりを心掛けたい。掲載する会員情報に留意するだけでなく、会員外の個人情報についても引き続き十分留意する。各号のページ数は 12 から 16 頁を目安とする。

(3) 企画委員会**1) 就職懇談会の開催**

就職懇談会を例年通り、企画委員を中心に学内理事の協力を得て最終学年の生徒を対象に開催する。臨床実習や就職活動に役立つように、また卒業(国家試験)までの時間を有に過ごせるような動機づけることを目的にする。また今年度より別日で行っていたあづまやで BBQ を当日開催としコロナ前の従来の方に変更する方向で考える。

2) 大瑠璃祭における[相談コーナー]の開設

大瑠璃祭の相談コーナーを開設。3 年生を中心に学生の相談に応じる。Web 開催を通じて地方の相談員を増やす方向で検討する。

3) 在学生との意見交換会

2023 年度からスタートした企画であるが学生からのニーズなど踏まえ、今後も必要に応じて継続していく。

(4) 名簿委員会

令和 7 年度は名簿の発行を行わないため、新入会員の登録ならびに現会員 登録情報の修正に対応する。令和 8 年度に会員名簿 2026 年版の発行を行うかどうか、理事会にて検討する。

広告収入・頒布数ともに減少傾向が見られるが、卒業生の連絡先の把握は学友会事業の根幹をなすものであり、正確性の維持に努める。

(5) 表彰委員会

2027 年学友会総会においての、名誉会員の推戴、表彰規定にもとづく表彰者、並びに感謝状贈呈者の選考を行う。

(6) 財務委員会**1) 一般会計**

収入について、安定的に新入会員を確保できているため、終身会費からの繰入金と同額とし、総額 9,872,652 円(前期 10,543,677 円)を計上した。支出については、とくに学生補助金と学生懇談会等を増額した。その他は前期の決算額

を考慮して増減を行った。全体として、総額 9,850,000 円(前期 10,550,000 円)を計上した。

2)終身会費

前期と同様に、収入分と同額を一般会計に繰り入れることとした。国債利息と合わせて、今期末の積立額は 4,548 万円(前期末 4,461 万円)となる予定である。

3)21 世紀創生基金

これまで卒業生へ記念品として贈呈してきた学友会バッジ(襟章)の在庫が少なくなってきたため、今期に作成する。また随時、寄附の受付を行い、基金として適切な運用・管理を行う。

以上

*通巻 256 2025 年 7 月 10 日発行(2025—No.3)より